

2014 年 8 月 15 日

第 1 号

子どもに夢を！たくましく豊かな創造性を！

すくらんぶる

NPO 法人 長崎県子ども劇場連絡会 NEWS LETTR

最新ニュース:

- ・第 11 年度定期総会
- ・篠原久美子氏講演会
- ・第 19 回長崎県
子ども舞台芸術祭典

■ 第 11 年度定期総会開催

2014 年 6 月 8 日、大村市民会館大会議室で第 11 年度定期総会が開催されました。

木下美和子代表理事から一年を振り返っての報告に続き、団体正会員である県内の子ども劇場から、それぞれ活動の報告がありました。

昨年 0～3 才の乳幼児を対象とした会員制をスタートし、乳幼児と母親の楽しい活動を重ねているながさき子ども劇場。青年が 5 月に行われた鑑賞例会オズの魔

法使いのドロシーの姿で登場し、活発な活動報告をしてくれた佐世保子ども劇場。会員同士のつながりを大事にした活動に取り組み丁寧に課題に向き合っている諫早子ども劇場。図書館キャラバンカーで島中の子どもたちに本の魅力と共に子ども劇場の魅力も伝えている、壱岐子ども劇場。ここ数年の努力がやっと実を結び幼児をもつ世帯の会員が増えた、はさみ子ども劇場。どの劇場も仲間を増やすのが難しい中で、たくさんの楽

しい活動を通して、地域の子どもや大人がつながりあい、青年・高校生を中心に子どもたちが主体的に創っていく活動を継続しています。

長崎県子ども劇場連絡会は、県内の子ども劇場と共に子どもの育ちや文化の視点から、体験の場や学習交流の場をつくること、また長崎県子ども舞台芸術祭典を通して県内すべての子どもたちに生の舞台芸術との出会いをつくることを方針にし、事業をすすめていくことを確認しました。

■ 篠原久美子さん講演会「世界を変える物語」

総会の午後からは、ながさき子ども劇場、壱岐子ども劇場は鑑賞例会として、諫早子ども劇場は特別例会として取り組まれる『空の村号』の作者、篠原久美子さんの講演会を開催しました。

『空の村号』は震災と原発事故を経験にした村と家族の物語。3・11 後、飯館村を何度も訪れ、目で見て肌で感じ、直接村の人たちの話を聞き「誰かを悪者にしてやっつけるというものではなく、子どもたちの未来を切りひらく力を信じて『世界を変える物語』を書こう」と決意してつくった作品。ある人に『演劇に社会を変える力なんてない、せいぜい観客の中の一人の心を動かすぐら

いだ』と言われ、それなら、1 人の心に届く芝居が人の数だけ、70 億あればいい！と思った。また、コツコツつづいて、つづき続けることをやめなければ、いつか必ず『パラダイムチェンジ』が起こる。社会は少しずつ変わっている。これは物理法則。あきらめずにやり続けることです。」

40 年以上も続いている劇場運動ですが、子どもたちを取り巻く状況は、相変わらず子どもの権利を尊重されているとはいえませんが、それでもあきらめずにやり続けること…

この講演を聴かれたお二人に感想をお聞きました。

◆エネルギーな行動力、具

体的なお話に引き込まれるように聞き入ってしまいました。演劇授業を通して子ども達は表現力よりもまず、相手のせりふを受け止めることを学ぶというところでは、目から鱗でした。私たちがやっている活動そのものが、「舞台芸術の力で子どもをとりまく状況を打ち破る」小さな一歩になっていることに改めて気づき、よし、これからがんばろうという気持ちになりました。

今、世の中は「世界をやさしい方に変える」のではなく、「きびしい方に変える」方向に向かっています。こんな時代だからこそ、子ども劇場で生の舞台にふれる機会を大切にしていきたいと改めて思いました。

(田向廣子)

◆その言葉の熱さと説得力に、やる気と元気がわいてきます。それと共に「自分に何ができるのか自分が何を伝えられるのか」責め立てられているような居心地の悪さも感じました。

私たちは、子どもたちがすばらしい子ども時代を過ごせるために、子ども劇場の活動をしています。しかし、子どもたちをとりまく状況や子ども劇場の現状は厳しいものになっています。伝えていく言葉、熱意、そして根気それらが本当に必要なのだと改めて考えさせられました。

(鈴木郁子)

■第19回長崎県子ども舞台芸術祭典大成功！



子どもたちと生の舞台芸術との出会いを通して、子どもが生き生きと豊かに育つ地域づくりをすすめている長崎県子ども舞台芸術祭典。

第19回は、県内の11市6町で37団体の主催による全41日46ステージ(5芸術団体5作品)が取り組まれました。実行委員会の形態は様々ですが、地域の子どもたちに生の舞台の楽しさを届けたい！という想いで、それぞれの団体が工夫をしながら毎年続けています。

そんな中、時津地域で実行委員会が立ち上がり、5年振りに公演ができたことはとても嬉しいことでした。

また、祭典をもっと広く知ってもらうために、作品や公演情報を載せたA3版のカラーリーフレットを作成しました。各地で取り組みをすすめていく時はもちろん、県内各地に配布するなど活用することができました。

実行委員会と芸術団体の初めての出会いである事前

交流会は、今年度からワークショップを取り入れ、作品に対する思いや興味がさらに深いものになりました。

また、リーフレットにも掲載した地域のたくさんの企業や商店から広告や協賛をいただき、祭典の大きな力になりました。



地域で人と人がつながり、関わり合いながらつくっていく祭典を、また来年へつなげていきたい！”

■ 16日間 7953名の観客！

祭典の締めくくりは、芸術団体と24主催36名の皆さんと推進委員が集った事後交流会でした。作品ごとのグループで楽しいパフォーマンスをしながら各地の様子を報告しあい、その後取り組みの交流を深め、次年度への力にすることができました。

こうして、7月11日からスタートして26日の最終日まで、のべ7,953名の人たちが各地の公演に参加しました。身近な場所で地域の人

たちと一緒に観るという安心感の中で、会場いっぱい広がる子どもたちの笑顔は、そこにいる大人たちに元気を与えてくれました。

そんな喜びにあふれた祭典の最終日に入ってきたニュースは、県内で子どもが加害者と被害者という悲惨な事件でした。子どもたちの育つ地域に顔見知りの関係が広がることは、子どもたちの生活の中にたくさんの人たちとの関わりが広がるということです。様々な価値観に

出会い、自分なりの考え方を確立していくことで、自己肯定感も育っていきます。地域で人と人がつながり、関わり合いながらつくっていくこの取り組みを、また来年へつなげていきたいと、思いを強くしました。



■ より多くの場所で

来年は祭典20回の節目の年になります。

日本で有人島が一番多い長崎県において、まだ取り組みが実現していない島や地域がたくさんあります。そんな地域での取り組みをひとつでも多く実現したいと思っています。会場いっぱいの笑顔の輪が長崎県全域に広がっていくことを目指して、そのために必要な動き

をつくる予定です。

祭典推進委員や地域スタッフの人数を増やすことや人材の育成。地域実行委員会の負担を少しでも減らすための安定した財源の確保、祭典をアピールするために、メディアとの関係づくりなど、取り組みを継続していくために、様々な課題を解決していかなければなりません。

ん。

実行委員会の皆さん、地域の方々や芸術団体とともに手をとりあい、子どもたちが豊かに育つ地域づくりをこれからも地道にすすめていきましょう！！

■ 地域の実行委員会から

【県南地域】

私たち「三井楽バラモンキッズ実行委員会」は、結成5年目の熱い気持ちを持ったメンバーの集まりです。それぞれ仕事を持っていて忙しい身なのですが、夏の声を聴くと、舞台芸術祭典がスタートした気分になります。離島にもかかわらず、毎年上演の案内があり、ありがたい限りです。

今年は、三井楽地区まちづくり支援事業の補助金をいただき、舞台だけでなく、「カプラのワークショップ」にも取り組む予定です。

小さな島で、小さな魔法の積み木を使って遊び、子どもたちの喜ぶ顔を想像すると楽しみで仕方ありません。

天気にも左右されるドキドキの離島ですが、子どもたちの笑顔に支えられ、私たちはがんばっています。年に1度しかない機会ですが、本物の舞台を子どもたちに観てもらふことや、他にもいろんなことに挑戦していきたいです。未来の三井楽を支えてくれる子どもたちのために…。

三井楽バラモンキッズ
実行委員会 島 則子



作品ごとのパフォーマンスで盛り上がった
事後交流会

未来の三井楽を支えてくれる
子どもたちのために…。
子ども文化の発信基地に

【県央地域】

10年目となった今年は、嬉しいことがたくさんあり、多い取り組みになりました。

ひとつは、一緒に実行委員会をたちあげた仲間が、再び加わってくれたこと。分り合える仲間がひとりでも多くいてくれるのは、何よりの力になります。

そして、実行委員会です。三「地域の子どもを支えるのは、やはり地域の大人」、

「子どもの笑顔が、大人に、地域に元気をくれる」、「大人のつながりを広げていこう」と話し、この趣旨に賛同してくれた周りの大人、自治会、婦人会へと幅広い声かけができました。

子どもたちを包み込むように大人が周りにいる会場で、0歳から70歳代までが、一緒に笑っている…これが地域で取り組む祭典だと、改めて感じました。

たくさんの「来てよかった！」の感想をもらい、いい取り組みができたことに感謝し、これからも顔がみえるつながりを地域の中に深めていきたいと思います。

大きなあれ小野っ子！
実行委員会
尾崎 由美子

0歳から70歳までが、
一緒に笑っている。



【県北地域】

西彼子ども劇場実行委員会で行った5回目の祭典が終わり、みんなでほっとしているところです。

実行委員の年令が年々高くなり、今後いつまで続けられるか心配もありますが、回数と共にいまだ成長を続けているグループです。実行委員のメンバーはほとんど変わりません。民生委員児童部・障がい児をもつ親の会・一般ボランティア・役所の町おこし課担当・西彼

農高生徒会の皆さん(10人当日)で、合計30名程度います。1人ひとりがそれぞれの役割を分担するため、誰かの負担が重くなるということになりません。

券売は目標を決めればおのずと一人分のノルマが定まります。今回は早い段階でストップをかけましたが、200名の目標に257名の参加者！参加費は大人も子どもも500円で、不足分については役所の町おこし課の

予算枠から補助してもらいます。自主運営で子どもたちの育ちを応援する団体として高い評価をいただいていると自負しています。

5月の連休明けから開催まで、5回の実行委員会と終了後の楽しい打ち上げ会。その時期がくれば、みんなと会える楽しみと覚悟を感じます。

西彼子ども劇場実行委員会
朝川 則子

その時期がくれば、みんなと会える楽しみと覚悟を感じます。

NPO 法人
長崎県子ども劇場連絡会

〒850-0057
長崎市大黒町 4-26
北村第一ビル 302 号室

TEL: 095-825-0533
FAX: 095-825-6151
E-MAIL: n.kogeki@alto.ocn.ne.jp

県内子ども劇場

ながさき子ども劇場
TEL: 095-825-0533

佐世保子ども劇場
TEL: 0956-22-6747

諫早子ども劇場
TEL: 0957-23-5689

壱岐子ども劇場
TEL: 0920-47-4621

はさみ子ども劇場
TEL: 0956-85-4273

Web サイト

URL:

<http://www5.ocn.ne.jp/~n.kogeki/index.html>

発行

NPO 法人長崎県子ども劇場連絡会



松元ヒロソロライブ

日時: 12月21日(日) 開演 18:30

会場: 長崎市ブリックホール国際会議場

参加費: 1500 円

対象年齢: 中学生以上(託児は要予約)

集团的自衛権の行使容認、改憲の議論が続く今、
松元ヒロはどう料理する？
ニュースをネタに大笑いしたあとに何かが残る・・・
ライブでしか言えない！こともある・・・
ご期待ください！

団体概要

子どもの豊かな成長と
地域の子ども文化芸術振
興に寄与することを目的
に 2003 年に NPO 法人とし
て活動を開始しました。

長崎県内にある 5 つの
子ども劇場をはじめとし
た、子どもに関わる団体
や個人の方とのつながり
を大切にしながら、地域
の文化活動を支援してい
ます。主な自主事業とし

ては、今年度 19 回目を迎
えた「長崎県子ども舞台
芸術祭典」の他、子ども
たちの表現活動を応援す
る「長崎県子どもと文化
フェスティバル」を行っ
ています。

子どもたちの成長発達
には、心を動かす体験や
人との関わり、自分自身
が主体的にかかわりやり
遂げる体験などが必要で

す。そうしたことが、自
分自身を認め、人を認め
ることにつながります。
関わるのが苦手な子ど
もが増えていると言われ
る現代。相手の身になっ
て想像する力、コミュニ
ケーションの力を、子ど
も文化の中で養っていき
たいと考えています。

子どもに夢を！たくましく豊かな創造性を！
私たちは子どもの文化を応援します。

★編集後記★

子どものためと言いなが
ら、大人の思い通りにした
いという気持ちがはたらいて
いないだろうか。子どもの権利
条約に何度も繰り返される
「最善の利益」。子どもにと
つての最善の利益はときに
は、大人にとっては最善の
利益でないこともある。

子育ての最中、何か悩む
ことがあったとき、立ち返る
場所として「子どもの権利条
約」の理念に出会っていたこ
とに感謝である。(N)

長崎角煮まんじゅう
 岩崎本舗

立石産婦人科医院

諫早市栄町 7-6
TEL 0957-22-0292

富士ゼロックス長崎株式会社

長崎市万才町 3-5 朝日生命ビル
095-822-3330

佐世保の中心、ビジネス&観光に。
セントラルホテル佐世保



〒857-0872 佐世保市上京町3番2号
Phone 0956-25-0001

 0120-69-0511

一般
財団法人 長崎ローブウェイ・水族館
 長崎ペンギン水族館
Nagasaki Penguin Aquarium

 白山陶器株式会社
白山陶器
〒859-3702 東彼杵郡波佐見町湯無田郷 1334
TEL. 0956-85-3251 FAX. 0956-85-6630

ホテル周辺にはコンビニ・飲食店街あり。
全客室ネット接続無料！有線 LAN・Wi-Fi 回線完備

 ホテル
ウイング・ポート長崎
☎ 095-833-2800 JR 長崎駅より徒歩 3 分
<http://www.wingport.com>

ホテル ジャノメ

諫早市永昌東町 1-39 [JR 諫早駅前]
TEL. 0957-22-0529
FAX. 0957-22-3181